

業界初の採用品受注システム開発

廣川書店でテスト、本稼働へ

— システムYAMATO —

システムYAMATO
はこのほど、書店から受



注する教科書などの採用品について、出版社のホームページから受注でき

るシステムを業界で初めて開発、廣川書店では採用品を納期まで自社で取り置き、取次会社から指定された期日に搬入していたが、手作業のため書店からダブル受注してしまふこともあったという。こうしたミスは「ほとんど返品のない採用品」では大きな痛手になる。

システムYAMATOの受注システムを導入したことで、365日24時間受注体制を実現したうえ、人件費も軽減できるという。作業効率を高め、

による手作業で在庫管理し、出版社に取り置く必要がある。取次会社では一般の注文品と搬入口も異なるなど、流通上においては特異な分野だ。

廣川書店によると、大学などで採用された書籍の注文についてはこれまで、書店や大学生協などからの注文は電話とファックスで受け付け、取次会社も大学と教員名を記した短冊で出荷作業や献本管理を行っていた。採用品の受発注は、出版VANなど電子受発注のインフラはなく、手作

書店は、廣川書店のホームページから在庫確認と注文が可能になったことで発注履歴が残る。

廣川書店によると、200点弱ある採用品一覧から銘柄を選び、取次会社を選択。書店コード、学校・教諭名、メールアドレスなどを入力するだけ。会員登録をする必要はない。操作性も易しいことから、すでに多くの書店が電子受発注に移行しているようだ。受注システムはシステ

な、廣川書店が取り扱う薬学書は、大学の薬学部が2006年度より4年制から6年制課程が設置されて生徒数が増えたことにより、採用品の需要も増えているという。

システムYAMATOが開発した出版社販売管理システム「NOA-Works J」のオプション。加入する出版社はカスタマイズしない限り一切の費用をかけずに導入できるとい